

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公表番号】特表2011-526636(P2011-526636A)

【公表日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2011-515453(P2011-515453)

【国際特許分類】

C 0 9 B	35/18	(2006.01)
D 0 6 P	1/39	(2006.01)
D 0 6 P	3/16	(2006.01)
D 0 6 P	3/06	(2006.01)
C 0 9 D	11/00	(2006.01)
C 0 7 D	213/76	(2006.01)
B 4 1 M	5/00	(2006.01)
B 4 1 M	5/50	(2006.01)
B 4 1 M	5/52	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	35/18	C L A
D 0 6 P	1/39	
D 0 6 P	3/16	
D 0 6 P	3/06	
C 0 9 D	11/00	
C 0 7 D	213/76	C S P
B 4 1 M	5/00	B
B 4 1 M	5/00	E
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月29日(2012.6.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項4】

R⁰が、メチル基を示し、

R¹が、-CH₂-SO₃H又は-CNを示し、

R²が、メチル基又はエチル基を示し、

R³が、H、メチル基、メトキシ基、又はスルホ基を示し、

R⁴が、H、メチル基又はメトキシ基を示し、

Bが、式-CR⁵R⁶-を有する基(式中、

R⁵が、H、メチル基又はエチル基を示し、

R⁶が、置換されていないC₁~C₄アルキル基、置換されていないアリール基又は置換されたアリール基を示すか、あるいは、R⁵とR⁶とは一緒になって6員の環状脂肪族環を形成し、その際、6員の環がそれ以上置換されていない。)を示す、

ことを特徴とする、請求項3に記載の化合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

上記の式(I)の化合物中の少なくとも1つのアニオン性置換基は、R¹及び/又はR³のうちのいずれか一方に好ましく位置する。より好ましくは、少なくとも1つのアニオン性置換基は置換基R²のいずれか一方に位置する。これは、置換基のうちの一つに好ましく位置するこの置換基がアニオン性の基であるとことも意味する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

上記の一般式(I)のさらにより好ましい化合物において、
R⁰は、メチル基を示し、
R¹は、-CH₂-SO₃H又は-CNを示し、
R²は、メチル基又はエチル基を示し、
R³は、H、メチル基、メトキシ基、又はスルホ基を示し、
R⁴は、H、メチル基又はメトキシ基を示し、
Bは、式-CR⁵R⁶-を有する基(式中、
R⁵は、H、メチル基又はエチル基を示し、
R⁶は、置換されていないC₁~C₄アルキル基、置換されていないアリール基又は置換されたアリール基を示すか、あるいは、R⁵とR⁶とが一緒になって6員の環状脂肪族環を形成し、その際、6員の環はそれ以上置換されていない。)を示す。)

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

この染料を、塩化ナトリウムで塩析することによって単離し、ろ別し、そして低減された圧力下で50°で乾燥させることができるか、あるいは、一方、この反応混合物を、生成物を単離せずに直接染色に使用できる。これにより、ウール、及び特にポリアミド繊維に対して、非常に良好な光及び湿潤堅牢特性を有する黄色染色物(ラムダ(max)(λ_{max})=445nm)がもたらされる。